

○四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会 会長コメント

本日、国土交通省から、四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業が、令和3年度の新規事業化候補箇所として公表されました。

当会は令和元年9月の設立以来、四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備促進に向けて、地元港湾利用者からの要望や意見をまとめるフォーラムの開催や、その声を国土交通省等の関係者に届ける要望活動を官民一体となって実施してまいりました。

本事業は、当地域産業の競争力強化に寄与するとともに、災害対応力強化にもつながることから、地元経済界・産業界としてこの度の決定は、大変嬉しく思っております。

国土交通省をはじめ関係の方々にお礼を申し上げるとともに、これまで御尽力いただいた、国会議員の先生方、本会会員の皆様方に心より感謝を申し上げます。

当会といたしましては、引き続き、新たなコンテナ輸送用の耐震強化岸壁の早期実現に向け、積極的な活動に全力で取り組んでまいります。

令和3年2月26日

四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会 会長 種橋 潤治